

妻ヶ丘中学校だより

令和6年8月27日 校長 深江 祐史

二学期が始まりました

34日間の夏休みが終わりました。皆さんの夏休みはいかがだったでしょうか。充実していたと自信をもって言えない人もいるかもしれませんが、まずは、大きな事故等の報告がなかったことを校長としてはうれしく思います。全国的には水の事故など悲しい報道がなされる中、妻ヶ丘中生は、しっかりと生活してくれたようです。

さて、8月26日の始業式では、4名の生徒に「二学期の抱負」を述べてもらいました。

1年代表の 税所 健琉 さんは、個人としては①メリハリのある生活をして部活と勉強の両立を図りたい②あいさつを徹底するなど凡事徹底に努めたい。また、学年としては①行間の過ごし方を見直したい②慣れが生まれていい加減になってきた「あいさつ」と「返事」をしっかりやりたい。

2年代表の 黒木 萌李 さんは、個人としては①苦手教科を避けてきたこれまでの反省から勉強から逃げない②持続力、集中力を向上させたい。そのために一つずつしっかりとクリアしながら1分でも長く続けられるようにしたい③恥ずかしさを乗り越え、仲間と協力して積極的に行事に参加したい。

3年代表の 森田 竜彪 さんは、①「運」を呼び込むような行動をしていきたい②感謝の気持ちを大切にしたい③高校進学後を見据え、努力を継続していきたいとのことでした。特に2年半の部活動で多くのことを実感として学んだようで、実に堂々とした発表でした。聴いていて自分のものになっているなあと感じた次第です。

生徒会代表の 巢立 大海 さんは、全校生徒を意識して学年別に生徒会として望むことを述べました。相手意識がありますね。体育大会の成功を踏まえ、文化祭をはじめとする今学期の行事そしてマルシェや地区ふれあい祭りのボランティアへの積極的な参加を呼びかけました。そして、最後に生徒会役員選挙が迫ってきたこと、いよいよバトンタッチの時期であることなど、1,2年生へのメッセージがありました。

原稿あり、タブレット端末利用、そしてノー原稿で、4名それぞれ実にしっかりした発表でした。いつも思いますが、さすが各学年の代表者そして生徒会役員です。

その後、私からは、全校生徒に対して以下の話(抜粋)をさせていただきました。

今から3つ話をします。

まず、この夏休み期間中、九州大会等に出場した選手の皆さん、本当にお疲れ様でした。とても暑い中での大会で、体調管理も大変だったと思います。また、他県のレベルを肌で感じたことと思います。どうぞ、その経験を今後の糧にしてほしいと思います。

2つめです。

先日、本校で、今年の妻ヶ丘地区ふれあい祭りの企画委員会が行われました。地域の大人の実行委員の方々と本校の生徒会メンバーが今年の祭りをどうしていくか話し合いを行っています。

昨年度、コロナ明けで中断していた地区の祭りが久しぶりに行われましたが、その際、百人を超

す本校の生徒がボランティアとして協力してくれました。とても盛り上がった祭りとなって地域の方も大変喜んでおられました。

今年は10月20日の開催となっています。今年も去年のように中学生が力を貸してくれるだろうか・・・地域や役員の方々は若干心配もしておられます。皆さんどうしますか？地域の方は期待されていますよ。



なお、このふれあい祭りに関しては、私は先生方にはできるだけ関わらないでくださいと言っています。本校が目指すのは【自立・感謝・貢献】できる生徒です。今年の生徒会を中心に、これまで学んだことを生かして、主体的に、仲間と協力して、自分たちの地域に貢献してください。私はとても注目しています。



【昨年度のふれあい祭りの様子】

最後です。3つめです。

あるアメリカの歴史家が「大発見」という本に、人間はあるものを発見して人間になったと書いています。さて、それは何だと思えますか？

「言葉」「火」「道具」・・・どれも当たっているかもしれません。

でも、その歴史家は、人間は、これを発見して人間になった・・・それは「時間」だと言っています。人は時間というものを見つけ出して、人間らしくなった。

その人は歴史学者です。世界の歴史を調べていく内に、古代エジプトでは、ナイル川が一年のある時期に必ず洪水を起こし、その後に肥沃な土地ができることから、その時期を予測できるようになって農耕が発達し豊かな生活、高度な文明が築かれたと言われています。洪水の時期で時間を意識したということです。そして、研究が進み、人間は暦(カレンダー)をつくったとのことです。人間は時間を意識することで、過去と現在と未来を視野に入れて考えることができるようになりました。

身近な話をしましょう。未来・・・約一週間後に実力テストがありますよね。で、時間の意識がある人は、いつからその準備をするのか考えて、そして行動しますよね。テストが迫っていても、今が楽しいからとゲームし放題・・・それは、人間らしくなっていない人で、そのことを意識した方がいいと思います。

今、4名の方が発表をしてくれました。それぞれ違う人格ですので、その内容は違って当たり前なのですが、決定的に違うものがありますよね。それは残された時間です。

1年生、2年生、そして3年生では、中学校生活という枠の中では、残された時間が違います。特に3年生にとっては、中学校生活は残り約7ヵ月です。これまでの自分を振り返って、行事や勉強など、どうぞ時間を意識して取り組んでください。悔いの残らないことを祈っています。

人は時間というものを見つけ出して、人間になった。皆さん、時間を意識して二学期を過ごしていきましょう。